

分科会開催報告書

報告日 令和 3年 11月 27日 (土)	報告者 佐藤和広
分科会名 古文書を読む会	開催テーマ 第二学習 島原の乱⑩
開催日時 令和 3年 11月 24日 (水) 午前 10:00 時 ~ 12:00 時	開催場所 金沢公会堂第二会議室
参加人数 古文書を読む会会員 男 8名 女 2名 合計 10名 欠席者 3名	
<p>・十二月十日頃より諸将御発向の覚え 上使(将軍の特使)板倉内膳重昌、目付石谷十蔵、豊後府内の鎮西横目牧野伝蔵他の御方衆近々到着の由。筑後柳川の立花茂政猶子左近忠茂、肥前鍋島信濃守嫡子元重二男直澄御兄弟、肥後細川中務大夫等々九州各国の大小名続々本陣入りした。 (但し肥後熊本藩主力は池尻、薩摩軍は天草に滞留し今後の指示を待った)</p> <p>・十二月廿日原城一番責(攻め)の事 上使板倉内膳と御目付衆も出陣し、城を見れば案に相違し防備が固められ、郷人と思ひあなどり軽率に攻めかかっては叶うまい。敵陣に相對し、空しく日を送っているだけではどうしようもない、試しに攻めてみるべし、と先ず鍋嶋勢が西方面で時の声を上げ敵の関心を西にそらして攻めたが逆攻勢を受け撤退。 時の声を聞きつけた立花勢が五千余騎をもって一番乗りを目指し一気に大手へ攻め寄せたが城中の一揆勢の応戦により三の丸口を含め味方の損害が多数出た。 一方城方は手負い少々で死者一人もなかったという。初戦は幕府軍の完敗に終わった。</p>	
次回予定 令和3年12月9日(木) 10:00~12:00 場 所：金沢公会堂第二会議室 テーマ：第一学習 参勤交代(松平春嶽)③	